

「税についての作文」コンクール表彰

中学生の「税についての作文」コンクールの審査結果、北海道納税貯蓄組合連合会会長賞に上田彩香さん（追分中2年）、苫小牧税務署長賞に三島涼花さん（同）が受賞し、11月16日 追分中学校で伝達式が行われました。このコンクールは、租税教育の一環として全国納税貯蓄組合連合会と国税庁の共催で募集し、優秀な作品を表彰しています。



右から古川校長、三島涼花さん、上田彩香さん

社会を明るくする運動優秀賞

第59回社会を明るくする運動作文コンクールで早来中学校3年の柴田睦さんが優秀賞を受賞し、11月26日に同校の校長室で伝達式が行われ、賞状と記念品が渡されました。



柴田さんは、家族が病気となりリハビリに励んでいた様子を見て人に感謝する気持ちを大切にしたいと感じ、高校では

看護関係の勉強をして将来は理学療養士を志したいと抱負を述べ、自分の考え方を400字詰め原稿用紙3枚にまとめました。



いじめ防止標語表彰

追分更生保護女性部と苫小牧保護司安平分区が募集した「いじめ防止標語」コンクールで追分中学校の柳谷朱音さん（3年）が最優秀賞に選ばれました。

体育館で全校生徒が見守る中、伝達式が行われました。入選した標語は看板にして生徒が登校する場所に設置され、いじめ防止を呼びかけています。

今回の応募数は81名、102作品でした。最優秀賞1名、優秀賞2名が決まり、11月20日 追分中学校



看板の前に立つ柳谷朱音さん

いじめ防止標語

最優秀賞 柳谷朱音さん（追分中3年）
『大丈夫？』その一言の温かさ

優秀賞 大西夏生さん（追分中3年）
やめるのが義務 とめるのが義務

優秀賞 松原涼平君（追分中1年）
いじめてる 人の心は 人じゃない



表彰状を受ける橋本さん(中央)と楯を持つ額田さん(左)。右は阿部さん。

健康な歯を持つ高齢者に表彰状

苫小牧歯科医師会と歯科衛生士会主催の歯の健康祭 8020 運動で、80歳以上で自分の歯が20本以上残っている方を表彰。安平町では橋本一夫さん（追分本町）、阿部好次さん（追分若草）、額田シズエさん（追分中央）に表彰状と記念品が渡されました。